

令和7年度 ユネスコ未来共創プラットフォーム for 2030 UNESCOConnect 事業

UNESCOWEEK

第4回 ユネスコウィーク

Ask Mother Earth ～ 母なる地球を探究する

2025年12月5日(金)-6日(土)-7日(日)

@青山 Telling Cafe & Gallery

ポーラーベア写真展 10:00-21:00 + ユネスコウィークナイトセッション 18:30-20:30

<参加無料・ナイトセッションは事前申込制 (先着50名限定) >



LISA VOGT'S

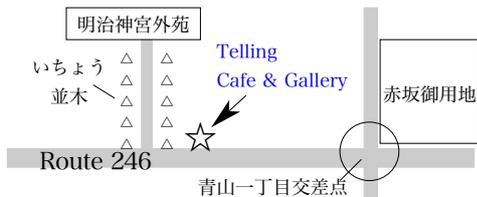
White Gift +

北極からのホワイトギフト

ポーラーベア写真展

12/5(金)～12/7(日)

10:00～21:00



東京都港区北青山1-4-5 Telling Cafeでは
Vort 青山一丁目 Dual's 1-2 F 自然食を楽しめます。

UNESCO WEEK 2025

三夜連続

ユネスコウィーク・ナイトセッション



12/5 ナイトセッション Day 1 18:30～20:30
『地球のいま-未来からの警鐘』講演+クロストーク
山本良一 東京大学 名誉教授 ∞ 河口真理子 立教大学 特任教授

12/6 ナイトセッション Day 2 18:30～20:30
『ユネスコ世界ジオパーク-次世代への遺産』講演
佐藤真久 東京都市大学大学院 研究教授 ∞ 薄羽美江 しあわせ研究所 客員研究員

12/7 ナイトセッション Day 3 18:30～20:30
『IDGs (Inner Development Goals) が拓く ESD』対話
リサ・ヴォート フォトグラファー ∞ 末吉里花 (一社) エシカル協会 代表理事

事前申込

本イベントは「第4回ユネスコウィーク」関連イベントとして開催いたします。
参加お申し込みは特設サイトリンク UNESCOConnect よりお申し込みください。



本関連
イベント
詳細は



本イベント詳細は → <https://ito-manabiya-station.com> (地域 ESD 活動推進拠点 ITO まなびや Station) へ
お問い合わせは → 03-5537-6945 (VISIONARY INSTITUTE/MC Planning, Inc.) へ

UNESCO WEEK 2025

Ask Mother Earth ～ 母なる地球を探究する 三夜連続 ユネスコウィーク・ナイトセッション

ユネスコウィークナイトセッションで会場の皆さんと共に対話を交えて探究する ASK MOTHER EARTH

- 👉 12/5 第一夜は、地球の気候危機に関する最新の研究報告を通じて「私たちはどう生きるか？」を共にたずねあいます。
12/6 第二夜は、ユネスコジオパークからはじめる地域づくり・人づくりの「私たちのエコシステム」についてわかちあひ。
12/7 第三夜は、ESD 大会後、ポーラーベアの北極写真を共にして「私たちの変革が導かれる IDGs」について対話します。



山本良一 東京大学 名誉教授 RYOICHI YAMAMOTO

専門は材料科学、エコデザイン学、環境経営学。東京大学国際・産学共同研究センター教授・センター長を経て東京大学生産技術研究所教授、文部科学省科学官、アジア生産性機構「緑の生産性諮問委員会」副会長、国際グリーン購入ネットワーク会長、消費者庁「倫理的消費」調査研究会座長、一般社団法人日本エシカル推進協議会会長を歴任。現在、同協議会名誉会長。2020年より気候非常事態ネットワーク発起人代表。国際機関アジア生産性気候（APO）地域賞、消費者支援功労者内閣総理大臣表彰を受賞。代表著作多数。『宇宙船地球号のグランドデザイン』『実践 低酸素革命 持続可能な社会を創るために』（共に生産性出版）、『気候危機』（岩波書店）『気候変動+2°C』『残された時間』（共にダイヤモンド社）他。



河口眞理子 立教大学 特任教 MARIKO KAWAGUCHI

立教大学社会他デザイン研究科特任教教授であり、現在、三菱化工機社外取締役、相模屋食糧CEOアドバイザー。一橋大学大学院修士課程修了（環境経済）後、大和証券入社。大和証券グループ本社CSR室長、大和総研研究主幹を歴任。企業の立場（CSR）、投資家の立場（ESG投資）、生産者の立場（エシカル消費）のサステナビリティ全般に関し20年以上調査研究、提言活動に従事。サステナビリティ学教育、エシカル消費、食品会社のエシカル経営、市民セクター支援に関わる。国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン理事、一般社団法人日本エシカル推進協議会理事、WWFジャパン理事。著書に『ソーシャルファイナンスの教科書』『SDGsで「変わる経済」と「新たな暮らし」』（共に生産性出版）他。



佐藤真久 東京都市大学大学院 研究教授 MASAHISA SATO

東京都市大学大学院環境情報学研究所研究教授。英国国立サalford大学にてPh.D取得（2002年）。公益財団法人地球環境戦略研究機関IGES戦略研究プロジェクト研究員、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターACCU国際教育協力センター・プログラム・スペシャリストを経て現職。現在、UNESCO ESD-Net2030フォーカルポイント、地域循環共生圏有識者会議委員等を務めUNESCO ESDグローバルアクションプログラム（PN1:政策）共同議長、「国連・ESDの10年」ジャパンレポート有識者委員会座長、認定NPO法人ETIC創業理事などを歴任。『探究×SDGs』（朝日新聞社）、『ジオパークからはじめる地域づくり／人づくり』（静岡新聞社）他、SDGs、ソーシャルプロジェクトの組織論・教育論に関わる著書多数。



末吉里花 一般社団法人エシカル協会代表理事 RIKA SUEYOSHI

慶應義塾大学総合政策学部卒業。TBS系『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験を持つ。エシカルな暮らし方が幸せのものさしになる持続可能な社会実現のため、日本全国でエシカル消費の普及を目指している。一般社団法人日本エシカル推進協議会理事、日本サステナブル・ラベル協会理事、日本ユネスコ国内委員会委員、鎌倉市エシカル消費推進アドバイザー、鎌倉エシカルラボ共同代表、他、政府政策検討委員や企業・自治体などのアドバイザーを数多く務める。慶應義塾大学環境情報学部特別招聘准教授（非常勤）。著書に『はじめてのエシカル』絵本『じゅんぴはいいかい?～名もなきこざるとエシカルな冒険～』『エシカル革命』（いずれも山川出版社）他。 <https://ethicaljapan.org>



リサ・ヴォート フォトグラファー・コラムニスト LISA VOGT

アメリカ・ワシントン州生まれ。明治大学特任教を経て、現在、青山学院大学にて英語教育と異文化コミュニケーション教育を担う（非常勤）。NHK英語番組や新聞・雑誌の連載、講演、語学書の執筆を通じて言葉の力、世界の異文化の魅力をわかりやすくユニークに発信している。語学書出版多数。世界6大陸50カ国以上を巡る写真家としても知られる。2003-2006年に北極に毎年通い撮影敢行したポーラーベア写真はBBC賞を受賞。写真集『LISA VOGT's White Gift』と『北極シロクマ南極ペンギン』は、ユネスコESD国際会議2014開催時、私たちの地球を考えるESDパートナーシップ事業として「おかざき世界子ども美術博物館」において「北極からの贈りもの・いのちのぬくもり」と題して写真展が開催され、本年10年を経てあらためて私たちの母なる地球を探究するIDGsからアプローチする写真展となる。現在、伊豆半島在住。



薄羽美江 株式会社エムシープランニング 代表取締役 YOSHIE USUBA

慶應義塾大学を経て金沢工業大学大学院にてMBA取得。一般社団法人日本エシカル推進協議会理事、武蔵野大学しあわせ研究所客員研究員。長年国内外企業の人材開発・組織開発をブランディングを機軸に企業文化遺伝子の情報編集から担う。ユネスコ認定伊豆半島世界ジオパークの自然資本について、文化資本と都市資本を交える地域循環共生圏の可能性を次世代教育を通じて地域ESD活動推進拠点から探究。編著・著書に『賢者の本』（三五館）『販売の現場力強化プロジェクトー収益を倍増するブランド教育のすすめ』（インデックスコミュニケーションズ）他、プロデュース本に『二十世紀の忘れもの』（雲母書房）『脳と日本人』（文藝春秋）『LISA VOGT's White Gift』（木耳社）他。 <https://mcplanning.co.jp>

第4回ユネスコウィークにて、皆様とこの時を共にできますことを、心より光栄に存じます。大きな変化の渦中にあるこの時代において、いまを生きる私たちは、何を受け継ぎ、何を未来へと手渡していくべきでしょうか。Telling Cafe & Galleryは、文化・伝統・芸術を通じて、古来より育まれてきた叡智と感性を伝え、次代へと紡ぐ場として生まれました。この3夜ナイトセッションと写真展が、皆様とともに未来を共創し、その想いをさらにその先へと繋いでいく、かけがえのない時間となりましたら幸いです。

Telling Cafe & Gallery オーナー 麻場俊行 TOSHIYUKI ASABA <https://tell-ing.com>

